

第 437 回定例研究報告会

2020 年 12 月 24 日

内外ガス情勢の展望と課題

<報告要旨>

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
化石エネルギー・国際協力ユニット ガスグループマネージャー
研究主幹 橋本 裕

2021 年の LNG 価格と国際 LNG 需給

1. 2021 年の日本の LNG 平均輸入価格は 2020 年の 7.8 ドル (100 万 Btu 当たり) から、7.0~7.3 ドルに低下する。北東アジア向け引き渡しのスポット LNG 価格は、第 1 四半期に 8 ドル前後、第 2・3 四半期に 5 ドル前後、第 4 四半期に 6~7 ドルとなる。
2. 2021 年の世界の LNG 需要は、2020 年推計 3.62 億トンから豊富な供給力見込みと価格低下に支えられ、5%増の 3.80 億トン程度まで拡大する。供給能力は、引き続き需要を上回り 4 億トン程度となる。

世界の LNG・天然ガスの市場動向

3. 世界のガス需要は、2020 年通年で約 3%の減少見込みだが、第 3 四半期には需要回復傾向がみられた。北米は 2020 年第 1 四半期、OECD 欧州は上半期に大幅に消費減少した。中国は 2020 年第 1 四半期のガス需要増加が停滞したが第 2 四半期から増加に転じた。インドは 2020 年第 1 四半期にガス需要が増加したが第 2 四半期は落ち込む等、主要市場で需要動向の差異が大きい。
4. LNG 貿易量は、2020 年第 1 四半期まで増加した。第 2 四半期は前年同期比減となったが、通年で 2%増の見込みである。日本の世界 LNG 貿易シェアは、2019 年通年 22%から 2020 年上半期 20%に低下した。中国の LNG 輸入量は月次ベースで、2019 年 11 月、2020 年 5・6 月、8 月に日本を上回った。また OECD 欧州地域が、日本、中国を上回る量の LNG を輸入している。
5. 大きな価格変動が、LNG 産業にショックをもたらし、契約・価格設定の見直しを迫っている。日本平均 LNG 輸入価格は、9 月に 6 ドル割れとなった。原油連動 LNG 価格と LNG スポット価格との格差が大幅拡大した。

需要動向

6. 中国では、天然ガス消費の伸びが 2020 年第 1 四半期に鈍化したが、1~10 月期は前年同期比 6.6%増となった。LNG 輸入は同 11.9%増だが増加ペースは減速した。3 大国有企業以外にも、沿岸部の大手都市ガス企業が自前の基地を持ち、国営パイプライン企業管轄に入った LNG 輸入基地を中心に第三

- 者アクセス促進が図られており、新規参入・輸入増加動向が注目される。
7. インドでは、1～9月累計でLNG輸入量が1900万トンと、前年同期比15%増となったが、ガス消費全体では2%減となった。その他南アジア、東南アジア諸国のLNG輸入は2020年1～11月期で前年同期比3%増加だが、今後、豊富な供給と比較的手頃な価格が需要を刺激することが期待される。
 8. OECD欧州では、2020年9月までの3四半期で、天然ガス消費量が前年同期比4.6%減、LNG輸入が1.4%増加したが、域外パイプラインガス輸入は20%以上も減少した。LNG輸入増加局面で米国産、ロシア北極圏産LNG輸入が増加した。10月、欧州委員会が天然ガス生産等におけるメタン漏洩の管理・規制に関する「メタン戦略」を発表、域外供給者への対応が注目される。

供給動向

9. 米国産LNGの2020年の月次でのLNG輸出は、1月がピークとなり、7月までに半分以下に低迷した。しかし、米連邦エネルギー情報局(EIA)は11月以降、最大量を更新していくと予測している。
10. 米国および他地域の新規LNG輸出プロジェクトに関して、需要見通し不透明を主因に投資先送りが散見される。投資決定に関しては、2020年は11月、メキシコ太平洋岸案件1件のFID発表に留まった。

LNGバンカリング・小規模LNG動向

11. 世界的にLNG船舶燃料導入が活発化している。日本では、国内での事業化取り組みに加え、各関係企業が海外でも事業参加している。また世界各地で船舶以外の道路燃料分野でも導入の動きが活発化している。

日本国内の都市ガス自由化動向

12. 日本の都市ガス小売全面自由化進展で、供給者変更申込は、2020年8月末時点で、累計約394万件(契約数の15.5%)、関東地区は200万件(契約数の15.9%)を超えた。大都市部で供給者変更が進むが、未だ変更が起きていない地域での競争促進動向も注目される。

まとめ・課題

13. 引き続きLNG市場は拡大傾向にあるものの、特に2020年代後半以降の需
要対応のための生産プロジェクト開発に向けた投資確保が必要となる。また
市場拡大促進のため、LNG市場流動性向上、指標価格形成等の諸条件の改善
が、特にアジアの新興市場開発の上でも重要となる。またCO₂・メタン排出
管理対応面に関して、新たな取組が求められる。

以上